

あなた（クライアント・支援者）の真の能力を見つける。

真に重要なのは、変わりたいという動機と、誰も自分の持っている真の能力を知らないという理解なのです。（ミルトン・H・エリクソン）

画像は、頬杖をついているエリクソンをわざと選びました。

頬杖をついていても、真正面（ハの字型ではない）に座ろうとも彼が「魔術師」と称され、当時の精神医学における最高の「結果」を残した、史上最も有名な精神・心理援助者の一人であること。

これは、誰も否定できない事実です。

そう、「態度」ですら、自由でいい。

真に重要なものは、あなたがあなたの持っている「真の能力を知らない」という理解だから。



## 解決志向キャリアコンサルティングの本旨

「人は皆、一人一人ユニークな存在です。したがって、心理療法はそのユニークさに合わせて、一人一人に仕立てられるべきであって、人間行動に関する仮説理論という『プロクルステスのベッド』に寝かせて、人を切ったり伸ばしたりしてはいけません」

「もし私が理論をつくるとしたら、患者一人一人に対して作ります」

「私のやり方を決して真似しないでください。皆さんは皆さんなりのやり方を追究してください」

ーミルトン・エリクソンー

「美味しんぼ」の山岡さんは、「料理」で人の心を変容させる。  
「家裁の人」の桑田判事は、「植物」をヒントに変容を試みる。  
「アニマルセラピー」は「動物」を変容のトリガーと捉える。  
森俊夫先生は、「演劇」という独自のリソースを取り入れた。  
キャリア魂太郎は、「言葉」によるリソース探しと変容を追究している。

あなたの「あなたなり」のやり方を探ることが、解決志向キャリアコンサルティングの本旨です。

皆さんは皆さんなりのやり方を追究してください

例

「今の仕事がとてもつらくて…私も、会社を辞めた方が良くかなって思うんです」

あなたは、この言葉に対して、どう応答しますか？

では、「その応答」をする理由（意図）が答えられますか？

逐語録を作る際、全ての応答に「理由・意図」が書けなければならない。

あなたの応答は「プロのサービス」です。

それは、プロのシェフにとっての「調理法（レシピ）」と同じ。

「なんとなく」「先輩に言われたから」隠し味にワインを入れる。

そんなシェフはプロと呼べるでしょうか。